

みの〜れ近くの牧場カフェ開設

人生を充実 させる場所

この地に酪農を拓いた外之内家に生まれ、牧場を身近に感じて育った幼少期。大学卒業後5年間過ごしたオーストラリアから帰国後、実家の牧場を継承し、自家製ミルクを使ったカフェをオープン。部室区にお住まいの外之内加奈さんにインタビューします。



Minori milk farm代表取締役／まる市メンバー

と の うち か な
外之内 加奈さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.218

中学生の頃、地元の人たちがみんな自分のことを「外之内さん家の子ども」と知っている環境に、田舎特有の閉塞感を感じていました。しだいに「自分が何者か知らないところでやってみたい」という気持ちが強くなって、高校はつくば市、大学は都内へ。「家が牧場、ペットは馬と羊」と友達に話すと「え? どういうこと?」と、とても不思議がられ「羨ましい」と言われました。地元から離れてみて、故郷に対する思いや見方が徐々に変わっていきま

した。大学の時にスキューバダイビングを始め、インストラクターとなつて、1年中オゾンシーズンのオーストラリアへ渡りました。5年間海外にいたので、親は私がこのまま

帰って来ないと思っていたようです。私も次はこの国に行こうかと考えていたところ、東日本大震災が起きました。オーストラリアの人たちから「日本は大丈夫か」と声をかけられ、大変な時に日本にいられない自分にやきもきしながらインストラクターを続けていたある日のこと。イルカが泳ぐ姿を眺めていた時、ふと「日本に帰ろう、と決心しました」と外之内さん。帰国して実家の牧場を手伝い始めました。「オーストラリアは驚くほどカフェがたくさんあって、お店ごとのカフェラテがとても美味しいんです。でも、実家のミルクだったらもっと美味しいんだろうな」と思っていたそう。「子どもたちが大きくなったとき、酪農の街で育ったと言えるようにしたい」と一念発起し、自分の牧場で搾った生乳を牛乳に加工できるミルクプラントを

(藤田佐知子)